

北海道文教大学 平成30年3月実施卒業時アンケート報告書

教育開発センター

平成30年3月(平成29年度卒業生)に実施された卒業時アンケートについて、2年間実施された結果をもとにして、年次変化を含めながら報告する。なお、修士課程アンケートは健康栄養科学研究科の2件のみであることと、記述欄への回答もなかったため、分析は学士課程のみについて行った。アンケートは選択肢による回答と自由記述による回答項目があり以下のようにまとめた。

◎選択肢による回答は「大変満足」5点、「満足」4点、「やや満足」3点、「やや不満」2点、「不満」1点として平均した値を、各質問項目・各学科別で集計した。作成した表は各分野とも以下の4種類の表を作成した。

①平成29年3月調査

②平成30年3月調査

①と②の各セル内のデータバーは最小値2、最大値4.5で描かれている。評価の高低が年度ごとにわかる表である。

③平成30年3月調査の値－平成29年3月調査の表

数値上得られた変化量の表である。

④統計学的に効果(≒変化)が認められる項目のみをまとめた表

各項目の平成30年3月調査群と平成29年3月調査群の効果量(マンホイットニー検定のZ値を両群のサンプルサイズの和の平方根で除した値)が小(0.1以上)となった項目のみ、変化量を記入した表。

この表のうち、通常の数値が記載されているところは効果量小、太字の数値があるところは効果量中が認められた項目、効果量がなし(0.1以下)となった(変化がないといってよい)場合には数値は空白とした。

◎自由記述による回答は同類の項目をまとめた。

I. 学生支援、大学設備に関する満足度

平成29年3月調査

H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ養	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	3.65	3.39	3.70	3.64	2.74	3.59	3.44
図書館でのサービス	3.85	3.08	3.48	3.24	2.95	3.48	3.32
教室の設備	3.32	2.67	3.19	2.67	2.48	3.18	2.92
大学側からの経済的な支援	3.07	2.63	3.02	2.97	2.22	2.76	2.74
保健管理センターでのケア	3.91	3.51	3.72	3.32	3.32	3.40	3.55
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	3.68	3.52	3.84	3.59	2.63	3.51	3.44
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	3.52	2.95	3.45	2.78	2.78	3.20	3.13
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	3.54	3.19	3.27	3.29	2.95	3.24	3.23
就職・進学に対する支援	3.83	3.48	3.76	4.10	3.64	3.49	3.66

平成30年3月調査

H29年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ養	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	3.57	3.59	3.67	3.68	3.32	3.85	3.61
図書館でのサービス	3.88	3.75	3.75	3.67	3.61	3.82	3.75
教室の設備	3.38	2.92	3.42	2.91	2.78	3.20	3.09
大学側からの経済的な支援	3.31	3.01	3.24	3.06	2.79	3.21	3.09
保健管理センターでのケア	3.67	3.83	3.74	3.90	3.45	3.77	3.73
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	3.88	3.85	3.67	3.82	3.11	3.84	3.68
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	3.44	3.34	3.66	3.33	3.15	3.67	3.43
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	3.51	3.45	3.53	3.37	3.34	3.60	3.48
就職・進学に対する支援	3.95	3.80	3.88	4.31	3.86	3.67	3.87

平成29年3月調査から平成30年3月調査への変化分

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	-0.08	0.20	-0.03	0.04	0.57	0.26	0.17
図書館でのサービス	0.03	0.67	0.27	0.43	0.66	0.34	0.42
教室の設備	0.06	0.24	0.23	0.24	0.30	0.02	0.17
大学側からの経済的支援	0.24	0.38	0.22	0.09	0.58	0.45	0.34
保健管理センターでのケア	-0.23	0.32	0.02	0.59	0.13	0.37	0.18
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	0.21	0.33	-0.18	0.23	0.48	0.32	0.24
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	-0.08	0.39	0.20	0.55	0.37	0.47	0.30
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	-0.03	0.25	0.26	0.08	0.39	0.36	0.24
就職・進学に対する支援	0.12	0.32	0.11	0.21	0.22	0.19	0.20

統計学的に変化が認められる項目

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)		0.20			0.57	0.26	
図書館でのサービス		0.67		0.43	0.66	0.34	0.42
教室の設備		0.24		0.24	0.30		
大学側からの経済的支援	0.24	0.38	0.22		0.58	0.45	0.34
保健管理センターでのケア	-0.23	0.32		0.59		0.37	
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応		0.33	-0.18	0.23	0.48	0.32	0.24
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備		0.39		0.55	0.37	0.47	0.30
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備		0.25			0.39	0.36	0.24
就職・進学に対する支援		0.32		0.21	0.22		

全学でみたときに評価値が上昇した順は以下のとおりである。

1. 図書館でのサービスの満足度

これは、記述欄にもあるように図書館の開館時間が延長されたこと、スペースが広がったことによると考えられる。

2. 大学側からの経済的支援

3. 福利厚生施設(食堂や売店等)の設備

評価値は上昇しているが、記述欄では改善要望が高い項目となっている。100円朝食をもっと充実してほしいとの声があるため、100円朝食の浸透によって評価が高くなったことも考えられる。国際言語学科、理学療法学科では

4. 課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備

5. 生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応

一方、保健管理センターでのケアの評価は国際言語学科では下がっている一方、作業療法学科、こども発達学科、健康栄養学科では高くなった。保健管理センターが移転したこととその認知度が影響していることがあるだろうか？ちなみに、移転後は作業療法学科がよく使用するレクリエーション治療室のそばに保健管理センターが位置している。

学科別では国際言語学科、理学療法学科では高止まりで変化がなかったが、それ以外の学科では評価が前年に比べて高くなった。

II 大学在学中に身についた能力の自己評価

平成29年3月調査

H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	3.71	3.49	3.59	3.74	2.95	3.36	3.45
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と)	3.74	3.75	3.94	3.95	3.50	3.60	3.74
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	3.69	3.80	4.04	4.07	3.54	3.74	3.80
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	3.82	3.45	3.62	3.72	3.38	3.54	3.56
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	3.69	3.48	3.87	3.74	3.42	3.34	3.57
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	3.77	3.77	4.19	4.35	3.78	3.92	3.93
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	3.77	3.69	4.03	4.07	3.45	3.63	3.75
問19 多様な人々(異文化の人々も含む)の考えや気持ち、行動を理解して幅広い視点から考えることができる。	3.87	3.67	4.10	4.05	3.49	3.72	3.79
問20 他職種役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	3.76	3.82	4.04	4.00	3.65	3.60	3.80
問21 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	3.89	3.63	4.04	3.95	3.49	3.70	3.76
問22 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	3.94	3.56	3.93	4.05	3.41	3.66	3.71

平成30年3月調査

H29年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	3.71	3.55	3.77	3.67	3.33	3.74	3.61
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と)	3.66	3.85	3.94	4.16	3.63	3.99	3.85
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	3.74	3.95	3.94	4.09	3.78	3.96	3.91
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	3.78	3.59	3.77	3.80	3.62	3.85	3.72
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	3.77	3.63	3.76	3.82	3.65	3.82	3.72
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	3.88	4.00	4.02	4.31	3.87	4.13	4.02
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	3.74	3.88	3.95	4.16	3.81	3.95	3.90
多様な人々(異文化の人々も含む)の考えや気持ち、行動を理解して幅広い視点から考えることができるようになった。					廃止		
問19 他職種役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	3.70	3.89	4.01	4.20	3.88	3.89	3.91
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	3.74	3.76	3.91	4.04	3.72	3.98	3.84
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	3.80	3.76	3.94	3.93	3.69	4.03	3.85

平成29年3月調査から平成30年3月調査への変化分

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	-0.01	0.06	0.18	-0.08	0.38	0.38	0.16
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と)	-0.08	0.09	0.01	0.20	0.13	0.39	0.12
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	0.04	0.15	-0.10	0.02	0.24	0.22	0.10
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	-0.04	0.14	0.15	0.08	0.24	0.31	0.16
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	0.08	0.15	-0.11	0.08	0.23	0.47	0.15
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	0.10	0.23	-0.17	-0.04	0.09	0.21	0.09
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	-0.04	0.19	-0.08	0.09	0.36	0.32	0.15
多様な人々(異文化の人々も含む)の考えや気持ち、行動を理解して幅広い視点から考えることができるようになった。					廃止		
問19 他職種役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	-0.05	0.06	-0.03	0.20	0.23	0.30	0.11
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	-0.15	0.12	-0.13	0.09	0.24	0.28	0.08
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	-0.14	0.20	0.01	-0.12	0.28	0.37	0.14

統計学的に変化が認められる項目

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。			0.18		0.38	0.38	
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と)				0.20		0.39	
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。					0.24	0.22	
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。					0.24	0.31	
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。		0.15			0.23	0.47	
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。		0.23	(0.17)			0.21	
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。		0.19			0.36	0.32	
多様な人々(異文化の人々も含む)の考えや気持ち、行動を理解して幅広い視点から考えることができる。					廃止		
問19 他職種役割を理解して連携するイメージをもつことができた。				0.20	0.23	0.30	
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。					0.24	0.28	
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。		0.20			0.28	0.37	

こども発達学科では全項目について、昨年度よりも身についた能力の自己評価値が高くなった。看護学科もほぼ全項目で自己評価値が高くなっている。健康栄養学科では問16～問18、問21のような意欲の面での向上が見られた。国際言語学科、理学療法学科、作業療法学科はほぼ前年から変化がなかった。

なお、参考までに質問項目と各学科のディプロマーポリシー（DP）との対応を以下に示す。

	卒業時アンケート項目	国際言語	健康栄養	理学	作業	看護	こども発達
問12	幅広い教養が身についた。						
問13	外国語学部 英語を実践的に運用できる知識とスキルを得た。 人間科学部 専門領域における基本的な知識が身についた。	DP1 DP2		DP1	DP1	DP1	DP2
問14	所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	DP3 DP4	DP3				DP1
問15	文章力、対人的コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。			DP7	DP3		DP3
問16	問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	DP7	DP2	DP3	DP5	DP4	DP5
問17	職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。			DP4	DP4		
問18	専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。			DP2	DP2	DP3	DP4
問19	他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。			DP5		DP2	
問20	社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	DP5					
問21	社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	DP6	DP1	DP6			

III. 大学でのカリキュラムに関して

平成29年3月調査

H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ養	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。	3.86	3.69	3.73	3.72	3.59	3.04	3.56
問23 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	3.79	3.65	3.90	3.87	3.38	3.38	3.59
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	3.90	3.54	3.78	3.93	3.28	3.60	3.63
問25 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	3.93	3.60	3.89	3.79	3.20	3.59	3.64
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	3.83	3.54	3.67	3.44	3.41	3.43	3.55

平成30年3月調査

H29年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ養	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。	3.85	3.70	3.75	3.59	3.54	3.94	3.73
問23 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	3.75	3.82	3.93	3.89	3.58	3.87	3.80
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	3.80	3.75	3.87	3.67	3.60	3.83	3.76
問25 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	3.77	3.85	3.93	3.73	3.56	3.89	3.80
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	3.75	3.75	3.81	3.71	3.63	3.77	3.74

平成29年3月調査から平成30年3月調査への変化分

H29年度→H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ養	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。	0.00	0.01	0.03	-0.13	0.50	0.38	0.14
問23 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	-0.04	0.17	0.03	0.01	0.20	0.28	0.12
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	-0.10	0.21	0.09	-0.26	0.33	0.23	0.13
問25 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	-0.16	0.26	0.04	-0.06	0.36	0.31	0.16
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	-0.08	0.21	0.15	0.27	0.21	0.33	0.19

統計学的に変化が認められる項目

H29年度→H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ養	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。					0.50	0.38	
問23 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。					0.20	0.28	
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。		0.21		(0.26)	0.33	0.23	
問25 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。		0.26			0.36	0.31	0.16
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。		0.21		0.27	0.21	0.33	

看護学科、こども発達学科ともに全項目について、昨年度よりもカリキュラムに対する評価値が高くなった。健康栄養学科では到達目標の達成、最新の知識の学びの評価値が上がった。作業療法学科では到達目標達成の点で評価値が下がった。国際言語学科は数字上微減、理学療法学科は数字上微増だが、効果量の観点からみて前年から意味のある変化はなかった。

IV. 総合的な満足度に関して

平成29年3月調査

H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問27 大学における学修は満足できるものでしたか。	3.79	3.65	3.88	3.90	3.08	3.89	3.68
問28 あなたの大学生活は充実していましたか。	3.98	3.89	3.95	4.23	3.39	4.01	3.88
問30 大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	4.00	3.87	3.99	4.16	2.96	4.05	3.82

平成30年3月調査

H29年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問27 大学における学修は満足できるものでしたか。	3.78	3.74	3.94	4.05	3.65	4.01	3.84
問28 あなたの大学生活は充実していましたか。	3.83	3.95	4.05	4.20	3.91	4.10	3.99
問29 大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	3.92	3.85	4.02	4.24	3.75	4.11	3.95

平成29年3月調査から平成30年3月調査への変化分

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問27 大学における学修は満足できるものでしたか。	-0.01	0.09	0.06	0.15	0.57	0.12	0.16
問28 あなたの大学生活は充実していましたか。	-0.15	0.06	0.10	-0.03	0.52	0.09	0.11
問29 大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	-0.08	-0.02	0.03	0.08	0.78	0.06	0.14

統計学的に変化が認められる項目

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問27 大学における学修は満足できるものでしたか。				0.15	0.57		
問28 あなたの大学生活は充実していましたか。					0.52		
問29 大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。					0.78		

総合的な満足度が看護学科では大幅に向上し、他の学科とほぼ変わらない値になった。その他の学科は作業療法学科の学修の満足度がやや向上したほかは、前年から変化がないという結果となった。